



小学校の部

## 優秀賞

団体名・グループ名

松山市立河野小学校 4年

審査委員の評価のポイント

恵まれた環境を活用し、川や生物を丹念に調査している。また、下水処理場の見学やテレビ番組の視聴を通して、ホタルの棲む川の水環境について深く考えたこと、全校生徒や地域の人々に「川を汚さないために油を流さないで！」などと呼びかけた活動を行った。  
子どもたちが丹念に調査し、地域にPRする活発な行動が評価された。

活動の場所	活動した子どもの人数
本校校区内 河野川・高山川	61人
	活動した子どもの学年
	小学4年生

活動継続年数	主な受賞歴
3 年	なし

## 活動グループ（学校・団体）の紹介、活動頻度

本校区は校区内に山、川、海があり、豊かな自然に恵まれている。校区を流れる河野川・高山川は、昔からホタルが生息していたが、一時は川が汚染されホタルの数が減少していた。もう一度、ホタルの飛ぶ川を取り戻したいと地域の方々が活動を始め、本校でも平成17年度から総合的な学習の時間の活動で4年生がホタルについて学習を始めた。一年を通じてホタルの幼虫の飼育を行い、育てた幼虫を近くの河野川、高山川に放流する活動をしており、全校的には児童のホタルに対する関心も高まってきた。放流を行なうようになってから少しずつホタルが飛ぶ姿を見られるようになり、地域や地域外からも夜になるとホタルを見に集まるようになってきている。

## 活動の概要（活動の経緯も含めてご記入下さい）

今年度4年生は、4月にホタルの幼虫の飼育を引き継いだ。前年度までに、ホタルの放流をしていたことや、ホタルが増えてきたということは漠然と知っていたが、ホアルについての知識を持っている児童は少なかった。そこで「ホタル博士になろう」と本やインターネットなどで体の仕組みやえさ、住みやすい環境などについて調べ、まとめた。ちょうどその頃（6月初旬）、ホタルの飛ぶ季節になり学校でホタルを産卵させ、新たな幼虫の飼育も始まった。その後「川を調べよう」の活動で、地域の方から川やホタルの生息の状況を聞き、実際に調査に出掛けた。その日は川の様子や生き物調査、水質調査を行なった後、清掃活動を行った。いろいろな場所の報告結果を報告し合った時、子どもたちは同じ川でも場所によってかなり違うがあることに気付き、ホタルの幼虫の放流場所を考えるきっかけとなった。また、社会科で下水処理場を見学し、油が水を汚す原因であることを聞いたり、NHK放送番組「どうする地球の明日」を視聴したことから、ホタルのすむ川の水環境について深く考えることができた。そこで学校の人々、地域の人々、全国の人々に水の環境を守ることの大切さを呼び掛けようと活動を始めた。ビデオやポスター、チラシ配りやホームページなど児童が考えた方法でいろいろな機会に啓発活動を行っている。10月下旬には、地域の方々とクリーン運動を行なった後、大きくなった成虫を児童で話し合った場所へ放流した。これからも河野地区にホタルが増えることを願い活動を続けている。

団体名・グループ名

河野小学校4年

活動の場所（様子や環境など）

河野川 高山川

タイトル

とべ！ぼくらのホタル

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

わたしたちの地域にある高山川、河野川で今年もホタルが飛ぶ姿を見かけるようになりました。何匹つかまえて教室で観察していると黄色いたまごを産みました。先はいたちもホタルの幼虫を育てているのを見ていたのでわたしたちも大切に育てたいと思いました。

夜の8時ごろ、河野川、高山川はホタルの光でとてもきれいに輝きます。昔はたくさんホタルが飛んでいたけれど年々ホタルが少なくなっていたのに最近とてもホタルが増えたみたいだ。という地域の人の話も聞きました。このホタルの幼虫が無事に育て来年はもっとたくさんホタルが飛ぶ姿が見たい。そんなことからホタルのことについて調べ、どうすればわたしたちのホタルが無事に川にかえしても大きく育っていくのか調べて活動することにしました。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタルはかせになろう。

—ホタルについて調べる。—

(体のしくみ)

(腹)

ハイボタルは幼虫とさなぎの頃にも発光器を持っています。

(発光器)

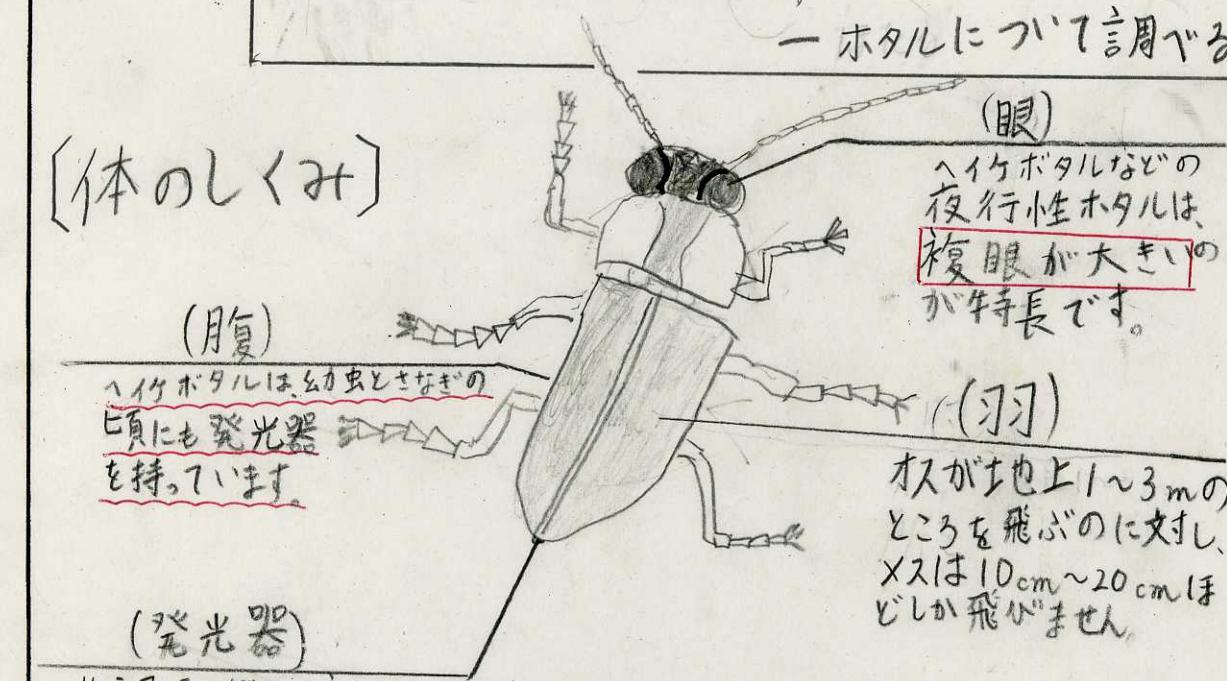
ルシフェラーゼといふこうその働きで発光嚢内のルシフェリンといふ発光物質がさんかして光が発生。発光器を包む透明な表皮を通して発光します。

(眼)

ハイボタルなど夜行性ホタルは複眼が大きいのが特長です。

(羽)

オスが地上1~3mのところを飛ぶのに対し、メスは10cm~20cmほどしか飛べません。



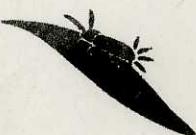
5・6回だつひをする。

さなぎから成虫までの様子



上の絵は、さなぎから成虫になる様子です。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# 〔ホタルのえさ〕

・ より虫のえさは、

・ カワニナ

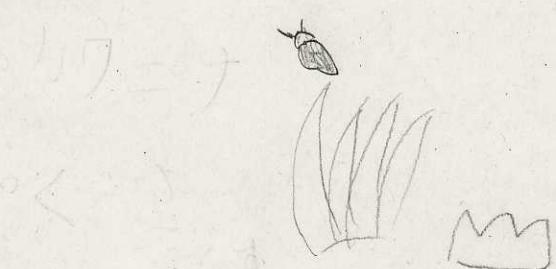
・ ます貝

・ また貝

・ ニナのしろ

・ ち貝

・ タニシです。

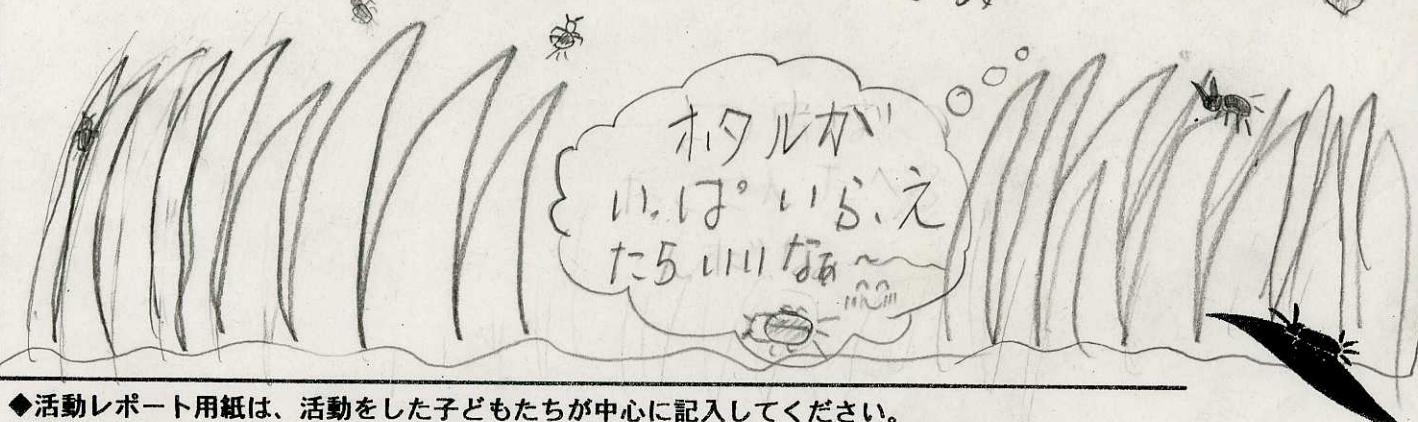


ホタルにさとう水を  
あげるとじゅうようか  
のひます。

ホタルのよし虫は、一番、カワニナを食べます。

少しきたない氷には、スジエビ

ヤマトシジミ、オオシマトビケラ  
ヒラタドロムシ、コオニヤンマ  
コガタシマトビケラなどあります。

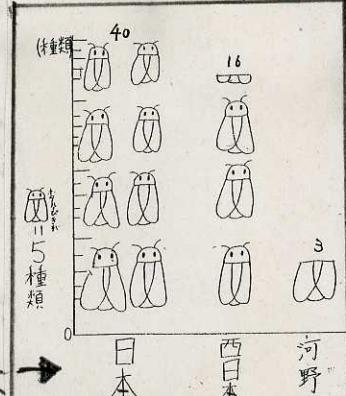


活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# ホタルを大切に育てよう!

三嶋先生(風早ホタル育成会)から  
聞いたこと

- ・ホタルの種類は日本で40種類。  
世界で2000種類。
- ・ホタルは、5000年前から7000年前に  
たらん生しました。



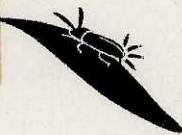
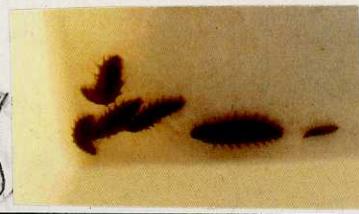
- ・川の工事が多くなるため少なくなった。
- ・ホタルは光で説すから、かいちゅう電灯などの光はさらい  
よう虫へ成虫までのじゅみょうは1、2年
- ・甘いさとう水などをあたえると長生きする。

- ・そこで、学校でもホタルのよう虫の飼育をはじめました。
- ・メスのホタルを数匹とってきて、  
卵を生ませました。



大きくなるために世話をしました。  
エサのかуニナは、小さいものを  
ピントでとてくるようにしました。  
またじゅん巻でとりました。

えさをたくさん  
食べて大きくなつたよ。

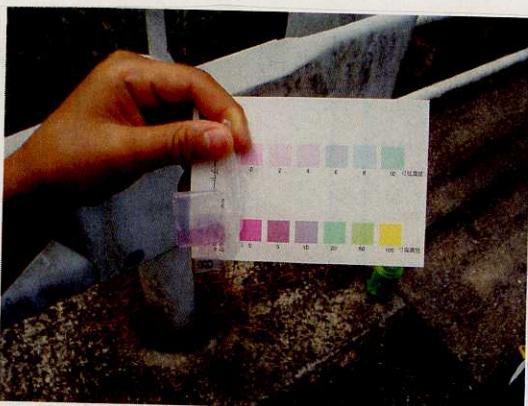


活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# 河野川の調査

	上流	中流	下流
COD けんさ	ピンク (きれい)	ややピンク・みどり (少しきたない)	ややピンク (ややきれい)
生き物 せいぶつ	カワニナ ・コオニヤンマ ・エラミズ ・ドンコ	ウズムシ ・ヤマトビケラ ・カワゲラ	サワガニ ・スジエビ ・カワニナ
かずな	やや多い	やや少ない	多い
川の様子 かわのようす	流れが おだやか	草がたくさん はえでた	流れが おだやか
ごみ	ごみが少な すぎてあつた	あまりなかった	ゴミが1か所に かたまっていた

CODけんさ



生き生物

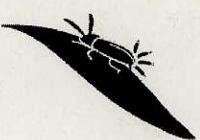


川をきれいにしたよ。



河野川の上流は思ったよりきれいだし生き生物もたくさんいたからすごいんだなとと思いました。ゴミはどうにでもあったのでなくなるといいなと思いました。

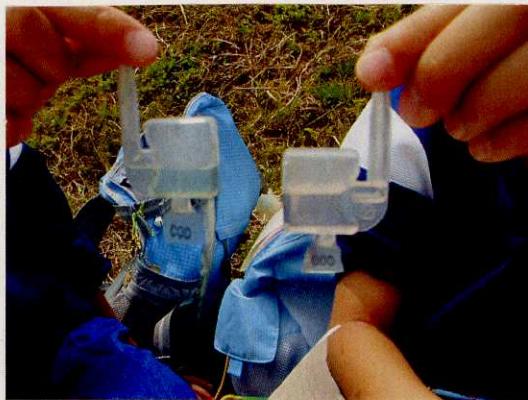
◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# 高山川の調査

	上流	中流	下流
COD けん查	き緑 少し汚れない	うすピンク きれい!!	うすピンク きれい!!
生き物	カワニナと サクガニが たくさんいた	サクガニや ヤゴがい た!!	タニシと アメンボが たくさんいた
カワ ニナ	20~30 ひきぐうい	20匹 らいいた	10匹 ひくいな がつた。
川の 様子	と中で 流れが 速くなつた	水かき とおっていた	草が茂はんね ていた石がめ なくさんあつた。
ゴミ	少しが なからた	少し 多からた	とても多が た。ラジカセ タイヤなどが あつた。



## 調査の結果

ぼくたちは、川のこと

調べていろいろなことをまとめてみました。

### 〈まとめ〉

- ・川はたいたいきれいということがわからました。
- ・きれいな水の生き物はあまりいなかったです。
- ・カワニナはどこにもいました。
- ・ゴミは上流から下流につれて多かったです。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

## 放流場所決定

## 河野川上流

- 水がきれい。
- 生き物多い。
- かわいい。
- 草たくさんある。
- ゴミ少ない。

川で  
調べたことを  
もとに、放流場所  
を話し合いました。

川がきれい  
だな。  
ホタルも、  
すめそう。



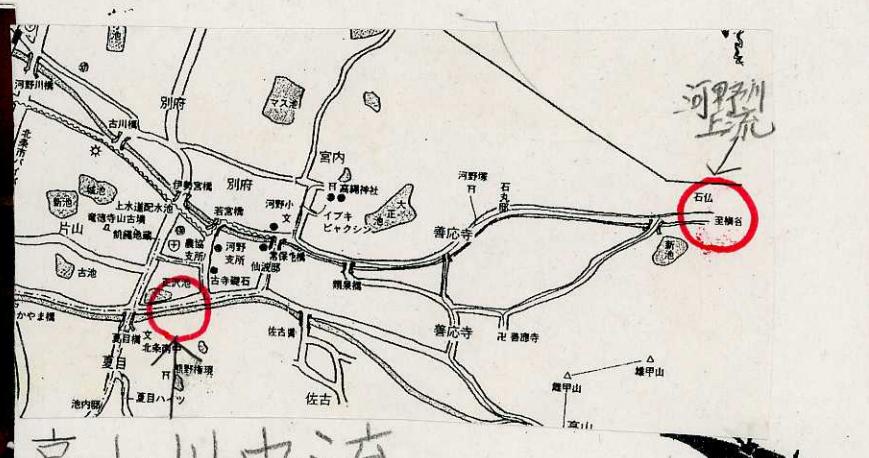
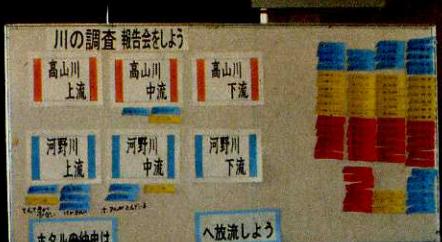
# 高山川中流

ここは、  
○水がきれい。  
○生き物もたくさんいた。  
○カワニナも多  
○草もたくさんあつた。  
○ゴミも少  
い。

生き物も  
いっぽいいろ  
なわ。



毎年ホタルを放流してホタルがふえたから、  
これからもホタルを放流していきます。

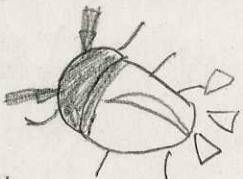


# 高山川中流

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

## 活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# 浄化センターの見学



分かった事はさいしょは  
水をきれいにするという  
事はきかいできれいに  
しているのだ"と思った  
けれど、ひ生物がそうじして  
くれるんだ"と分かり  
ました。

みなさんにおねがい  
です! にゅうのは大き  
くつ目はお料理に使った  
油を流さないで下さい。

2つ目はホ<sup>ー</sup>イ拾<sup>ト</sup>をね  
いご下さい。  
3つ目は水をむだ使い  
しないで大切にして下  
さい。

このよろな事を守るととても美しい川や海になるでしょ△

これらの事を守って下さい。  
ご協力お願いします。

第3章 语句与表达式

A child's drawing on paper. At the top left is a small photo of a person wearing a yellow vest and hard hat. The main drawing shows a landscape with trees on the left, a winding river in the center, and a sun-like shape at the bottom right. Japanese text is written throughout: '生き生物' (living things) in large letters, 'ゴミ' (trash) appearing multiple times, and '下りいき' (downhill) at the bottom. There are also smaller labels like '今はこんな' (now it's like this) and 'ゴミひらけいを下さる' (let's clean up trash).



◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# みんなによびかけよう

ホタルが住む河野川、高山川の環境を守るために全校の人、地域の人、そして全国の人によびかけることにしました。

## (1) 校内放送

かけをしながらよびかけをしました。  
川をよごさないためにごみをすないこと  
や、台所から油を流さないようお願いをし  
ました。



## (2) ポスター・チラシ

「川に油を流さないで」  
「ごみをすてないで」などのお願いをかけ、  
公民館には、もう、たり、校内にけいじ  
したりしました。チラシはPTAフォーラムで地域  
の人に配りました。



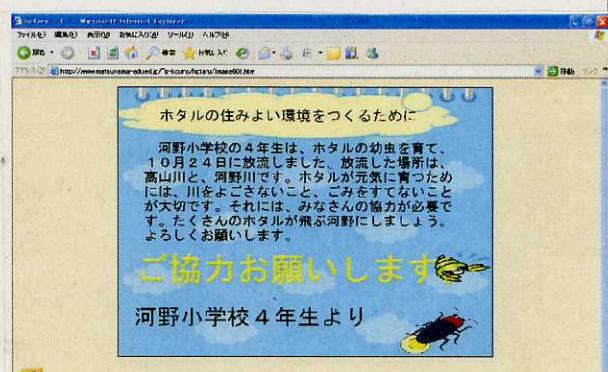
## (3) かんばん

「川を大切にしよう!」「ポイ捨て禁止」な  
どとかきました。クリーン運動の時高山川、  
河野川にいたしました。



## (4) ホームページ

自分たちで作った画面を河野小学校のホ  
ームページにのせていました。  
全國の人たちに私たちの思いがとどく  
といいです。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

# クリーン運動

## そうじ

高山川中流には、草やゴミがありました。ゴミはプラスチックやあきかんなどがありました。右の図に書いてあるようにプラスチックが一番多かったです。でも地元住民のお話によるとゴミは年々減っているそうです。

## 放流

さいしょにカワニナを放流して、次にホタルの幼虫をひしゃくの中にいれて、そっと川に放流しました。

来年の夏にはホタルいっぱいの川にならいいなと思います。

ぶじに帰ってきてね!

(1ふくろ 5kg) ゴミの量

草(えのこ)	プラスチック	ガラス	かん
2kg	5kg	1kg	2kg

草+プラスチック+ガラス  
+かん  
11  
10kg

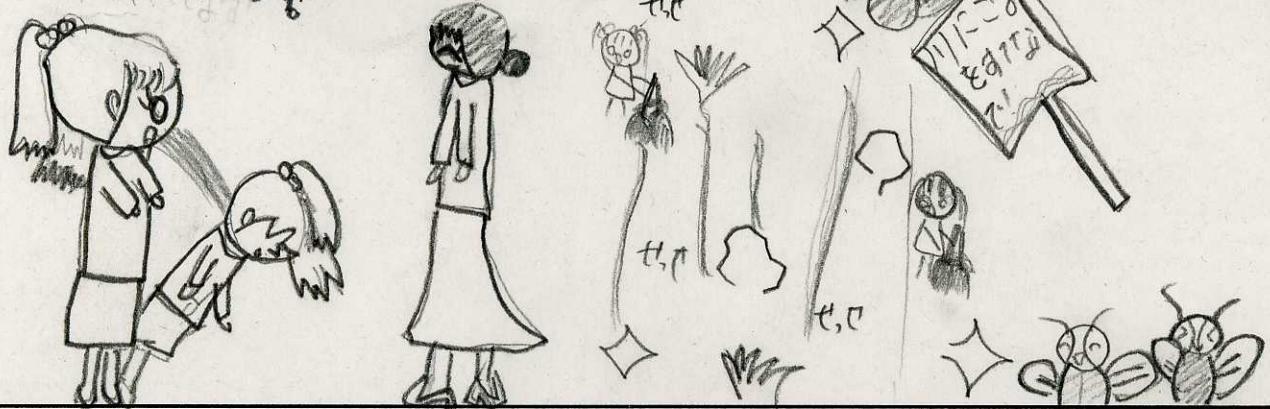


## 活動で工夫したこと、困ったこと

放流する場所を決めるために川の調査をしました。  
かん板やポスター、ちらしを作ったり、放送番組を作ったり。  
ホームページに取り組みをのせたりしてみんなに川をきれいにして、ホタルを守るようによいかけてました。

よろしくおねがいします

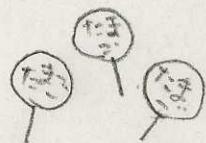
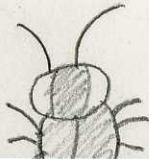
はい、おかけます。



## これからやりたいこと

私たちはホタルのすみやすいかんきょうにするために次のようなことをやりたいです。

- ①川にごみをすません。またごみがおちいたら拾います。  
これはみんなできることです。
- ②油やせんざいを流さないように私たちが家族やちいきの人たちへよいかけます。
- ③ホタルを増やす活動をします。たまごをうませ、大きく育ててから放流します。  
一人一人が川をきれいにする気持ちをもってがんばるとホタルも安心して住めると思います。



気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

環境大臣やみんなに伝えたいこと

ぼくたち河野小四年生はホタルをもと川に  
よびもどそうとたまごから幼虫になるまで

育てました。ビックリしたのは、自分の体よりも大きい  
カワニナを食べていたことです。生まれた時は、  
すごく小さかったのに放流する時には、さか  
さなくとも見つかるほど大きくなりました。



みんなで、「じゃあね」「がんばって大きくなれや」と言って見送りました。  
年々ホタルがふえていると聞いてがんばったかいがわったなと思いました。

そのころ、NHKで～する「地球の明日」という番組を見ました。

下水道では、台所から油を流す人がいるため、それが「かたまって  
『オイルボーリング』」といつてもくらいかたまりがでてくるそうです。油だけ  
でなくラーメンのスープなど、料理に油がふくまれているものも  
水をよごす原因になるそうです。

社会科の勉強でじょう化センターの見学に行きました。じょう化セニ  
ターの人は油が流れたらしょ理できないと書いていました。油が  
そのまま川に流れるとホタルが死んでしまいます。だから家の人などに  
『油を流さないで』とよびかけました。

ホタルの放流した時地域の人にも「お米をといだ時にでる  
白い水はそのまま川に流すとホタルが死んでしまうよ。」と教え  
てもらいました。自分たちにできることから実行して少しでも川がきれい  
になるといいでです。



ぼくたちは地域のみんなに知ら  
せるためにポスターやチラシでよびかけました。  
公民館などには、てもらい気をつけもらっている  
ことを聞きしてもかんしゃしています。今の時代  
は昔にくらべてホタルがへっています。一人一人が  
気をつけもう一度ホタルのとびから河野に  
したいです。

